

平成17年度当初予算協議項目一覧

番号	事業名及び所管課	前年度 予算額	要求額	調査額	事業の概要	調査額の考え方
1	里山体験環境塾開催事業費 [環境政策室]	1,200	3,400	3,000	「花フェスタ2005ぎふ」においてNPO、ボランティア等と連携した県民協働事業(協働型委託)として環境塾を開催 ・運営業務委託費(県内NPO) 2,500(2,753) ・環境塾開催経費 500(647) 開催時期等:会期中(3/1~6/12のうち4/1~6/12)の木・土曜日 午前・午後の各1回、花フェスタ記念公園内で開催	
2	アジア太平洋環境会議等開催事業費 [環境政策室]	0	11,176	8,800	環境省主催の「アジア太平洋環境会議(エコアジア2005)」を、県主催行事と組み合わせて一体的に実施 ・開催日:17.6.3~5 ・開催場所:岐阜市、多治見市及び可児市 ・県主催行事等:環境に関する国際シンポジウム 3,000(4,240) 知事歓迎レプション・花フェスタ視察 2,600(3,322) その他(アテンド・記録集等) 3,200(3,614)	
3	もったいない県民運動支援事業費 [循環社会推進室]	16,463	1,872	1,800	二酸化炭素削減のための「もったいない・ぎふ県民運動」の普及啓発及び実践(H16もったいない・ぎふ県民運動実践フェスタ事業の実践) ・県民運動実践拡大 200(204) ・もったいない自慢 400(412) ・地域交歓会 300(333) ・県民大会 900(923) *「県民運動」色を充実、一般県民多数参画	
4	廃棄物リサイクル製品認定事業費 廃棄物リサイクル認定製品活用促進 事業費 [循環社会推進室]	3,161	3,360	3,360	リサイクル製品の利用拡大とリサイクル産業の育成を図るための廃棄物リサイクル製品の認定 ・H16.12現在 85社、168製品を認定 ・常設展示施設「リサイクル工房」の情報発信拠点としての活用 ・インターネット、各種イベントへの出展等による情報発信 ・「リサイクル工房」体験講座、環境学習講座の開催	
5	水生生物のための水質評価指標づくり 事業費 [水環境室]	5,000	4,011	3,700	魚類等水生生物のための水質評価指標をつくり、水生生物保全のための河川環境施策につなげていく。 ・調査河川:根尾川(春季調査)、揖斐川流域(河川評価) ・調査内容等:4月 春季調査(魚類、水生生物、水質、五感) :5月~ 県内河川の評価(作成した指標を活用) ・作成した指標をもとに条例制定も検討していく。	
6	産業廃棄物処理業者登録管理・監視 指導システム事業費 [廃棄物対策室]	0	7,736	6,600	産業廃棄物処理業者の情報管理 ・基本情報、詳細情報ともサーバで一括管理 ・本庁、地域振興局、事務所及び駐在からの登録、検索 ・自動車リサイクル法(H17.1施行)許可業者も併せて管理 →情報の共有・蓄積、情報収集の効率化、基本情報の随時更新 [H17 6,600(7,736) H18~22(債務負担限度額) 17,000(18,513)]	
7	浄化槽設置整備事業費補助金 [廃棄物対策室]	480,000	480,457	480,000	公共用水域の汚濁防止のため、し尿と生活排水を合わせて処理する浄化槽整備に対する補助 ・下水道事業及び農業集落排水の計画区域以外の地域、下水道事業及び農業集落排水の整備が7年以上見込まれない地域を対象 ・負担割合 国1/3 県1/3 市町村1/3 ・3,183基(56市町村) → 3,218基(55市町村)	
8	浄化槽市町村整備推進事業に係る岐阜 県特定基盤整備推進交付金 [廃棄物対策室]	0	14,678	0	市町村が整備する戸別の浄化槽に対する交付金 ・全県域下水道化構想見直し(H15~16)を踏まえ、公共下水道、農業集落排水、浄化槽の各々の特長を生かした整備が必要 ・浄化槽市町村整備推進事業(国庫補助事業)を活用 ・市町村の起債対象額のうち交付税措置がされない部分の1/2を事業実施の翌年度に交付 [設備基数80基、市町村数1市]	・全県域下水道化構想の見直しを踏まえる必要があること及び三位一体改革に伴う循環型社会形成推進交付金・汚水処理施設整備費交付金についての詳細が不明であることから、引き続き検討することとし、予算計上を見送ることとする。

平成17年度当初予算協議項目一覧

番号	事業名及び所管課	前年度 予算額	要求額	調査額	事業の概要	調査額の考え方
9	財団法人地球環境村ぎふ運営費・事業費補助金 [廃棄物対策室]	36,534	34,937	34,937	<p>・地球環境村とは 当 初 現 在 廃棄物処理施設(溶融施設、中間処理施設、最終処分場等)を核として、その周辺に健康、福祉・医療、文化、スポーツ等の複合施設を一体的に整備するもの。(大規模一括処理方式) これに加え、排出段階での徹底した分別を前提とした「小規模・分類・分散処理方式」及びその考え方を基にした「ネットワーク型地球環境村」を検討中。</p> <p>・「地球環境村」推進構想策定と財団設立(H8.3) (1)公共関与により安全、安心な処理施設の整備を進めるため、「地球環境村」推進構想を策定。 (2)県は、(財)地球環境村ぎふを設立し、構想の推進主体とする。 組織(H16):理事長(県OB)1名、その他役職員(県派遣)5名</p> <p>・事業内容 (財)地球環境村ぎふ運営費 24,452千円 (財)地球環境村ぎふ事業費 10,485千円</p> <p>・課題 (1)地域住民の理解を得るため、受け入れ廃棄物の圏域内限定、処理施設の完全リサイクル工場化を前提に各圏域において協議を進めてきたが、具体的候補地の決定には至っていない。 (2)このため、従来の方式に加え、「小規模・分類・分散処理方式」及び「ネットワーク型地球環境村」を検討することとし、当面、不法投棄事案が多い建設廃棄物を課題として取り組んでいる。</p> <p>※平成16年3月、岐阜市椿洞において大規模な不法投棄事案が発覚</p>	<p>・「小規模・分類・分散処理方式」を推進する具体的な取り組みについて検討していくこととする。</p> <p>(参考) ・県の制度として、処理施設所在市町村の周辺施設整備を支援するため、産業廃棄物処理施設で5億円(上限)、一般廃棄物処理施設で2億円(上限)の交付金を平成7年度に創設 ・H11.1 一般廃棄物処理施設である「ささゆりクリーンパーク」(可児市)を地球環境村第1号に指定し、2億円の交付金を交付</p>
10	夜間・休日産業廃棄物不適正処理監視/パトロール委託事業費 [不適正処理対策室]	0	23,358	18,500	<p>不法投棄等が多発する可能性の高い早朝・夜間あるいは休日の時間帯における監視パトロールを警備保障会社に委託して実施 ・実施回数 600回 休日昼間100回(20回×5班=100回) 夜間早朝500回(100回×5班=500回)</p> <p>・H12~16 緊急雇用特別対策事業(新産業労働局予算)で実施 【使・手 18,500(23,358)】</p>	<p>・休日昼間は1人体制、夜間早朝は2人体制で実施することとし、所要額を計上する。</p>
11	乗鞍環境保全事業費 乗鞍環境パトロール員設置費 [自然環境森林室]	27,384	20,959	20,959	<p>中部山岳国立公園の乗鞍地域にある貴重な自然環境を保全していくための各種の環境保全施策を実施する。 ・環境影響評価調査費(ライチョウ生息調査) ・乗鞍自然環境指導員設置事業費(乗鞍の自然に関する情報提供) ・環境パトロール員設置・活動費(環境保全を妨げる行為の防止) (乗鞍スカイライン開通(5/15)後すぐ事業実施のため骨格予算)</p>	<p>・17年度税収見込額23,000に16年度決算収支差額△7,783を減じた15,217が本来の17年度充当可能額であるが、乗鞍地域の環境保全のための最小限の施策を実施する必要があることから、所要額を計上する。</p>
12	自然公園等施設整備費 [自然環境森林室]	0	23,000	22,473	<p>御嶽山県立自然公園の遊歩道(高山市)の再整備 台風23号による被災箇所の改修(高地トレーニング施設としても利用されるため来夏シーズンまでの早期復旧を村が要望、骨格予算) ・事業費 本工事費 22,473千円 事務費 -(527)千円 ・工法 ウッドチップ舗装 L=750m (平成14年度整備 事業費 42,367千円 L=1,514m)</p>	
13	動物ふれあいパーク(仮称)施設整備事業費 [自然環境森林室] アニマルセラピーモデル実施事業費 [健康局生活衛生課]	500	2,870	0	<p>人と動物の共生(動物愛護、アニマルセラピー、傷病野生動物保護)の拠点施設を整備。また、アニマルセラピーの実践モデルを確立。 ・整備基本計画策定委員会(環境) -(2,230)千円 ・用地選定プロポーザル審査会(環境) -(140)千円 ・ボランティア協力型アニマルセラピー(健康) -(500)千円</p>	<p>・アニマルセラピーの位置付けが不明確(健康局:医療の一環、環境局:人と動物とのふれあい)であるため、引き続き検討することとし、予算計上を見送る。</p>